

【ミニ展示】祝・日本人受賞 ノーベル賞特集

2016年10月発表のノーベル賞で、大隅良典・東京工業大栄誉教授がノーベル賞(医学・生理学賞)を受賞。
自然科学3賞(医学・生理学賞、物理学賞、化学賞)で日本人の単独受賞は29年ぶりでした。

2016/10/4

請求記号	書名	著者名	出版社	出版年
408//B59//1225	タンパク質の反乱：病気の陰にタンパク質の異常あり!	石浦 章一	講談社	1998.8
408//B59//1944	細胞の中の分子生物学：最新・生命科学入門	森 和俊	講談社	2016.5
463.6//Mi96	オートファジー：生命をささえる細胞の自己分解システム	水島 昇	化学同人	2012.12
463//A41	細胞の分子生物学	Alberts Bruce 1938-	教育社	1990.1
463//P73	プロッパ細胞生物学：細胞の基本原理を学ぶ	Plopper George	化学同人	2013.3
463//Sa17	細胞の分子生物学プロブレム・ブック	Wilson John	教育社	1991.2
463//Ta18	分子細胞生物学	多賀谷 光男	朝倉書店	2016.3
464.2//N23	タンパク質の一生：生命活動の舞台裏	永田 和宏	岩波書店	2008.6
雑誌記事	「液胞膜における輸送現象：酵母の研究を中心として」 (生物物理 25巻4号)	大隅良典	日本生物物理学会	1985.8
雑誌記事	「オートファジーの膜動態を巡る謎」 (生化学 80巻3号)	小原圭介、大隅良典	日本生化学会	2008.3
雑誌記事	「オートファジーにかかわるタンパク質とその役割」 (ファルマシア 49巻6号)	小林孝史、小原圭介、 大隅良典	日本薬学会	2013.6
雑誌記事	「酵母オートファジー：最近の動向」 (化学と生物 53巻1号)	川俣朋子、大隅良典	日本農芸化学会	2015.1